年間授業計画 様式例

高等学校 令和5 7 年度

教科 国語

科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位
 対象学年組：第 2 学年 1 組～ 4 組
 教科担当：(1組：長谷川・家田) (2組：長谷川・家田) (3組：長谷川・家田) (4組：長谷川・家田)
 使用教科書：(第一学習社 現代の国語)

- 教科 国語 の目標：
- 【知識及び技能】日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。□
 - 【思考力、判断力、表現力等】日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。□
 - 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、その能力の向上を図る態度を養う。【

科目 現代の国語	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。
	姿勢正しく、進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	聞	書					
評論「生きもの」として生きる 【知識及び技能】文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 ・教材/「生きもの」として生きる ・授業ファイル・ノート・国語便覧・常用漢字練習・一人1台端末の活用 等				○				7
小説「夢十夜」 【知識及び技能】常用漢字を文や文章の中で活用する。 【思考力、判断力、表現力等】文章を読み、自分の意見や考えを論述する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。 ・教材/「夢十夜」 ・授業ファイル・ノート・国語便覧・常用漢字練習・一人1台端末の活用 等				○				8
定期考査						○	○		1
1 学期	評論「本当の自分」幻想 【知識及び技能】文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。「自分」への理解を深める。 ・教材/「本当の自分」幻想 ・授業ファイル・ノート・国語便覧・常用漢字練習・一人1台端末の活用 等				○			7

北豊島工科高等学校 令和7年度（2学年用）地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 4 組

教科担当者：（1組：槇野 （2組：槇野 （3組：槇野 ） （4組：槇野 ）

使用教科書：（東京書籍 ）

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本や世界の歴史の展開を理解する。諸資料から情報を適切に読み取り効果的に活用し、表現する知識・技能を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史にかかわる事象の意義や概念を用いて多角的に考察し、議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる事象について主体的に解決しようとする態度を養い、多角的考察し、日本や諸外国の文化を尊重する態度を培う。

科目 地理総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象について世界の生活文化等の特徴や地域的課題について多面的・多角的に理解し、地形図やGIS等を利用し資料を効果的に調べ、まとめる力を身に着ける。	地理にかかわる事象や意味や意義、特色についての地理的関連性や分布について相互に依存している点に着目し、概念を用いて、地理的課題の解決について考察し、構想した内容を説明したり、討議する力を養う。	地理にかかわる諸事象について、課題について主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに日本や諸外国にの多様な生活文化を尊重する姿勢を培う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 私たちが暮らす世界 【知識及び技能】 ・緯度・経度や地軸の傾きで時差が生じる仕組み等を理解する。 ・地図の種類や目的に応じた使用について理解する。 ・日本の領域についてその特徴や課題について理解する。 ・主題図を用いて地理的な特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から関連性や相違点を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用し、課題を追究し、解決したりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 ・教材 教科書、プリント ・BYOD端末の活用 等	【知識及び技能】 ・緯度・経度や地軸の傾きで時差が生じる仕組み等を理解できる。 ・地図の種類や目的に応じた使用について理解できる。 ・日本の領域について特徴や課題について理解できる。 ・主題図を用い地理的な特徴を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から関連性や相違点を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用し、課題を追究し、解決したりする活動に主体的に取り組める。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元資料から読み取る現代世界 【知識及び技能】 ・交通手段の多様性やその長所や短所、生活の変化について理解できる。 ・情報通信ネットワークや生活の変化について理解する。 ・国境を越える人々や貿易の拡大について理解する。 ・文化の多様性や特徴、宗教による習慣や文化のちがいを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から関連性や相違点を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用し、課題を追究し、解決したりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 ・教材 教科書、プリント ・BYOD端末の活用 等	【知識・技能】 ・交通手段の多様性やその長所や短所、生活の変化について理解できる。 ・情報通信ネットワークや生活の変化について理解できる。 ・国境を越える人々や貿易の拡大について理解できる。 ・文化の多様性や特徴、宗教による習慣や文化のちがいを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から関連性や相違点を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用し、課題を追究し、解決したりする活動に主体的に取り組める。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	D 生活文化と自然環境 【知識及び技能】 ・山地や平地・海岸地域の生活の営みの特徴や土地利用の変化を理解する。 ・熱帯・乾燥帯・温帯・亜寒帯・寒帯の気候的特徴や生活の営みの特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から関連性や相違点を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用し、課題を追究し、解決したりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 ・教材 教科書、プリント ・BYOD端末の活用 等	【知識及び技能】 ・山地や平地・海岸地域の生活の営みの特徴や土地利用の変化を理解できる。 ・熱帯・乾燥帯・温帯・亜寒帯・寒帯の気候的特徴や生活の営みの特徴を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から関連性や相違点を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用し、課題を追究し、解決したりする活動に主体的に取り組むことができる。				9
	定期考査						1
2 学期	E さまざまな地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 ・地球温暖化や森林減少について生産・消費活動に起因して発生することを理解し、解決に向けた取り組みを考えられる。 ・資源エネルギー問題について生産地や消費地の地	・指導事項 ・教材 教科書、プリント ・BYOD端末の活用 等	【知識及び技能】 ・地球温暖化や森林減少について生産・消費活動に起因して発生することを理解し、解決に向けた取り組みを考えられる。 ・資源エネルギー問題について生産地や消費地の地				

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 4 組

教科担当者： （1組・3組： 畠山・柳沢） （2組： 桐山・柳沢） （4組： 田中・柳沢）

使用教科書： （数研出版 新 高校の数学A ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象の数学化、数学的解釈数学的な表現や処理をする技能を身に付ける。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を	数学のよさを認識し数学を活用する態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	場合の数と確率 第1節 場合の数 場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	指導事項 ・集合 ・集合と要素の個数 ・和の法則と積の法則 ・順列 教材 ・教科書学習ノート 数学A	【知識・技能】 和の法則、積の法則、そして順列・組合せの考えを理解して、場合の数を求め、それから確率を求めるための知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 順列・組合せなどの場合の数の求め方を身につけ、具体的な事象の確率を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 不確実な事象を数学的にとらえることの有用性を認識し、具体的な事象の考察に活用しようとする。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	場合の数と確率 第1節 場合の数 第2節 確率 場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	指導事項 ・組み合わせ ・事象と確率 ・確率の計算 教材 ・教科書学習ノート 数学A	【知識・技能】 順列・組合せの考えを理解し、場合の数を効率よく正確に求めるための基礎的な力を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・場合の数を考えるに当たって、順序を考るか否かに気づくことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 確率を求める場面が容易に理解できる簡単な場面について条件付き確率を求めようとする。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
2 学期	場合の数と確率 第2節 確率 場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	指導事項 ・独立な試行と確率 ・条件つき確率 ・期待値 教材 ・教科書学習ノート 数学A	【知識・技能】 独立な試行と反復試行について理解し、基礎的な知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 2つの独立な試行における2つの事象が同時に起こる確率を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角形や円など図形の性質に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、問題の解決に活用しようとする。	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1
	図形の性質 第1節 平面図形 平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	指導事項 ・図形の基本 ・角の二等分線と線分の比 ・三角形の外心、内心、重心 ・円周角の定理 ・円に内接する四角形 ・円の接線 教材 ・教科書学習ノート 数学A	【知識・技能】 図形の性質を系統的に理解し、基礎的な知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 図形の見方を豊かにするとともに、図形の性質を見出し、論理的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取り組む姿勢、課題への取り組む姿勢を評価する。	○	○	○	22

東京都立北豊島工業高等学校 令和7年度年間授業計画

教科:(理科)科目:(物理基礎) 対象:(第2学年1組~4組)

教科担当者:(1~4組:相川潤也)

使用教科書: 新編物理基礎(東京書籍)

使用教材: サブノート、演習プリント

単位数: 2

指導内容 【年間授業計画】	理科・物理基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時数
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・物理学とはどういう内容で、なぜ学ぶのか、物理学の方法とはどのようなものかを概説する。 ・単位と次元、有効数字について理解し、これからの学習の基礎とする。 ・直線運動における変位、速度、加速度、速度の合成、相対速度などの運動の表し方を学び、速度・加速度の概念を理解する。 	6
5月	序章 物理の世界 1節 物理学とは 2節 物理量の測定 第1章 物体の運動 1節 運動の表し方 2節 力 3節 運動の法則	6
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・空気抵抗が無ければ、質量や体積によらずに一律に自由落下運動をすることを理解する。 ・自由落下運動や鉛直投げ上げ運動の「時間」「速度」「位置」の関係式を理解する。 ・力とは何かを理解する。 ・重さと質量の違いを理解する。 ・固体には弾性があり、一般にはフックの法則に従うことを理解する。 ・力の合成、分解、つり合いなど、力の性質を理解する。 ・作用反作用の法則を理解する。 ・摩擦力、浮力などのいろいろな力について理解する。 ・慣性の法則を理解する。 ・力と加速度の関係を理解し、運動の法則を理解する。 ・運動の法則を適用して運動方程式を立てて解き、力や加速度を求めることができる。 ・空気抵抗を受ける物体の運動について理解する。 	8
7月		6
9月	第2章 エネルギー 1節 運動とエネルギー 2節 熱とエネルギー	8
10月		6
11月	第3章 波 1節 波の性質 2節 音	6
12月		4
1月	第4章 電気 1節 電流 2節 電気の利用	6
2月		8
3月	第5章 人間と物理 1節 エネルギーとその利用 2節 物理学が拓く世界	2
評価の観点・方法	「定期テスト」、「課題提出」、「授業に取り組む姿勢」を総合的に判断して成績を出す。	

高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～4組

教科担当者：(1組：鈴木) (2組：鈴木) (3組：鈴木) (4組：鈴木)

使用教科書：(現代高等保健体育)

教科 保健体育 の目標：生涯にわたって健康な生活を送っていきける体力・技能・知識を身につける

【知識及び技能】生涯にわたって健康な生活を確立・維持していきけるような知識を身につける

【思考力、判断力、表現力等】健康な生活を確立・維持していきけるよう自ら考え、行動できるようにする

【学びに向かう力、人間性等】健康な生活を保っていきけるような知識を身につけようと努力する姿勢を持つ

科目 保健 の目標：生涯にわたって健康な生活を送っていきける知識を身につける

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたって健康な生活を送れるような知識と技能を身につける。	健康な生活を確立しそれを維持していきけるよう自ら考え、行動できるようにする。	健康な生活を保っていきけるような知識と技能を身につけようと努力する姿勢を持つ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 思春期と健康 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 年間で3回の定期考査で理解度を測る。 【思考・判断・表現】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより思考力等を測る。 【主体的に学習に取り組む態度】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより取り組む態度等を見る。	○	○	○	3
	B 単元 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 性意識と性行動の選択 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 年間で3回の定期考査で理解度を測る。 【思考・判断・表現】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより思考力等を測る。 【主体的に学習に取り組む態度】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより取り組む態度等を見る。	○	○	○	3
	C 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 妊娠・出産と健康 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 年間で3回の定期考査で理解度を測る。 【思考・判断・表現】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより思考力等を測る。 【主体的に学習に取り組む態度】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより取り組む態度等を見る。	○	○	○	3
	D 単元 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 定期考査	・指導事項 結婚生活と健康 働くことと健康 労働災害と健康 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 年間で3回の定期考査で理解度を測る。 【思考・判断・表現】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより思考力等を測る。 【主体的に学習に取り組む態度】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより取り組む態度等を見る。	○	○	○	4
2 学 期	A 単元 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 健康的な職業生活 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 年間で3回の定期考査で理解度を測る。 【思考・判断・表現】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより思考力等を測る。 【主体的に学習に取り組む態度】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより取り組む態度等を見る。	○	○	○	7
	B 単元 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 定期考査	・指導事項 大気汚染と健康 水質汚濁・土壌汚染 と健康 環境と健康にかかわる対策 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 年間で3回の定期考査で理解度を測る。 【思考・判断・表現】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより思考力等を測る。 【主体的に学習に取り組む態度】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより取り組む態度等を見る。	○	○	○	7
3 学 期	A 単元 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 定期考査	・指導事項 大気汚染と健康 水質汚濁・土壌汚染 と健康 環境と健康にかかわる対策 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 年間で3回の定期考査で理解度を測る。 【思考・判断・表現】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより思考力等を測る。 【主体的に学習に取り組む態度】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより取り組む態度等を見る。	○	○	○	8

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 4 組

教科担当者：（1組：益永・鈴木）（2組：益永・鈴木）（3組：益永・鈴木）（4組：益永・鈴木）

使用教科書：（ ）

教科 保健体育 の目標：生涯にわたって健康な生活を送っていただける体力・技能・知識を身につける

【知識及び技能】さまざまな運動種目の技能やそれに必要な体力とルールを身につける。

【思考力、判断力、表現力等】さまざまな運動種目の技能の習得とそれに必要な体力の向上やルールについて身につける工夫をする。

【学びに向かう力、人間性等】さまざまな運動種目の技能の習得とそれに必要な体力の向上やルールについて身につける努力をする。

科目 体育 の目標：生涯にわたって健康な生活を送っていただける体力・技能・知識を身につける

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
様々な運動種目が有ることを知りその技能を身につける。	安全に留意しながらその運動を楽しむことができるようにする。	仲間と協力しながら練習し運動を楽しめるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 バドミントン 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 基本的な打ち方	【知識・技能】 ・それぞれの種目の基礎技能を修得しようとする取り組み ・理解しているか。 【思考・判断・表現】 ・ルールや運動特性を理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・協力して取り組んでいるか。	○	○	○	6
	B 単元 アルティメット 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 試合のルール	【知識・技能】 ・それぞれの種目の基礎技能を修得しようとする取り組み ・理解しているか。 【思考・判断・表現】 ・ルールや運動特性を理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・協力して取り組んでいるか。	○	○	○	7
	C 単元 体力テスト 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 正しい測定方法	【知識・技能】 ・それぞれの種目の基礎技能を修得しようとする取り組み ・理解しているか。 【思考・判断・表現】 ・ルールや運動特性を理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・協力して取り組んでいるか。	○	○	○	6
	D 単元 水泳 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 基本的泳法	【知識・技能】 ・それぞれの種目の基礎技能を修得しようとする取り組み ・理解しているか。 【思考・判断・表現】 ・ルールや運動特性を理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・協力して取り組んでいるか。	○	○	○	7
2 学 期	A 単元 水泳 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 基本的泳法	【知識・技能】 ・それぞれの種目の基礎技能を修得しようとする取り組み ・理解しているか。 【思考・判断・表現】 ・ルールや運動特性を理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・協力して取り組んでいるか。	○	○	○	6
	B 単元 サッカー 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 キックの基本 ボールコントロール 試合	【知識・技能】 ・それぞれの種目の基礎技能を修得しようとする取り組み ・理解しているか。 【思考・判断・表現】 ・ルールや運動特性を理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・協力して取り組んでいるか。	○	○	○	11
	C 単元 バスケットボール 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 バス シュート ド リブル 試合	【知識・技能】 ・それぞれの種目の基礎技能を修得しようとする取り組み ・理解しているか。 【思考・判断・表現】 ・ルールや運動特性を理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・協力して取り組んでいるか。	○	○	○	11
3 学 期	A 単元 持久走 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 持久走	【知識・技能】 ・それぞれの種目の基礎技能を修得しようとする取り組み ・理解しているか。 【思考・判断・表現】 ・ルールや運動特性を理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・協力して取り組んでいるか。	○	○	○	16

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科

家庭基礎 科目 家庭基礎

教科： 家庭基礎

科目： 家庭基礎

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 4 組

教科担当者：（1～4組：柴田・下井）

使用教科書：（家庭基礎 自立・共生・創造）

教科 家庭基礎

の目標：

- 【知識及び技能】 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に着けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよく社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするおともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に着けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよく社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするおともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 人の一生と家族・家庭及び福祉 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	5
	B 単元 衣食住の生活の自立設計 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 年間で2回の定期考査で理解度を測る。 年間6回の実習で技能を習得する。 【思考・判断・表現】 年間で2回の定期考査や課題、プリント提出などにより思考力等を測る。 【主体的に学習に取り組む態度】 年間で2回の定期考査や調理実習、プリント提出などにより取り組む態度等を見る。	○	○	○	6
	A 単元 人と一生と家族・家庭及び福祉 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 年間で2回の定期考査で理解度を測る。 【思考・判断・表現】 年間で2回の定期考査や課題、プリント提出などにより思考力等を測る。 【主体的に学習に取り組む態度】 年間で2回の定期考査や調理実習、プリント提出などにより取り組む態度等を見る。	○	○	○	4
	B 単元 衣食住の生活の自立と設計 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 年間で2回の定期考査で理解度を測る。 年間6回の実習で技能を習得する。 【思考・判断・表現】 年間で2回の定期考査や課題、プリント提出などにより思考力等を測る。 【主体的に学習に取り組む態度】 年間で2回の定期考査や調理実習、プリント提出などにより取り組む態度等を見る。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		
	B 単元 衣食住の生活の自立と設計 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 年間で2回の定期考査で理解度を測る。 2学期で8回の被服実習で技能を習得する。 年間6回の調理実習で技能を習得する。 【思考・判断・表現】 年間で2回の定期考査や課題、プリント提出などにより思考力等を測る。 【主体的に学習に取り組む態度】 年間で2回の定期考査や調理実習、プリント提出などにより取り組む態度等を見る。	○	○	○	8

2 学 期	A 単元 人と一生と家族・家庭及び福祉 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 年間で2回の定期考査で理解度を測る。 年間6回の実習で技能を習得する。 【思考・判断・表現】 年間で2回の定期考査や課題、プリント提出などにより思考力等を測る。 【主体的に学習に取り組む態度】 年間で2回の定期考査や調理実習、プリント提出などにより取り組む態度等を見る。	○	○	8
	B 単元 衣食住の生活の自立と設計 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 年間で2回の定期考査で理解度を測る。 年間6回の調理実習で技能を習得する。 【思考・判断・表現】 年間で2回の定期考査や課題、プリント提出などにより思考力等を測る。 【主体的に学習に取り組む態度】 年間で2回の定期考査や調理実習、プリント提出などにより取り組む態度等を見る。	○	○	4
3 学 期	B 単元 衣食住の生活の自立と設計 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 年間で2回の定期考査で理解度を測る。 年間6回の調理実習で技能を習得する。 【思考・判断・表現】 年間で2回の定期考査や課題、プリント提出などにより思考力等を測る。 【主体的に学習に取り組む態度】 年間で2回の定期考査や調理実習、プリント提出などにより取り組む態度等を見る。	○	○	8
						合計 49

高等学校 令和7年度 教科 工業 科目 機械設計

教科：工業 科目：機械設計

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～ 組

教科担当者：(1組：春日) (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)

使用教科書：(機械設計〔実教出版〕)

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】設計における基本的な計算・機械に働く力と仕事・材料の強さなどについて理解する。

【思考力、判断力、表現力等】設計における基本的な計算・機械に働く力と仕事・材料の強さなどについて説明できる。

【学びに向かう力、人間性等】設計における基本的な計算・機械に働く力と仕事・材料の強さなど学習が意欲的に取り組むことができる。

科目 機械設計 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
設計に関する基礎的な知識と技術を理解し、一般的な計算（面積・三角関数）、力、仕事、材料の強さ、応力・ひずみ、せん断、曲げ等に関する知識を身につけている。	諸問題の解決をめざしてみずから思考を深め、問題解決方法を適切に判断する能力を身につけており、一般的な計算（面積・三角関数）、力、仕事、材料の強さ、応力・ひずみ、せん断、曲げ等に関する知識を組み合わせて適切に判断することができる。	設計に関する基礎的な知識と技術に関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的・実践的な態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	機械の仕組み 機械要素と標準化 機械設計	機械のなりたち・機械の仕組み・機械要素と標準化。・設計の進め方について、機械とはどのようなものなのかを機械としての条件に当てはめて考える。・主な単位や記号・計算について	毎時間のノートやプリントの状況、定期考査の得点、出席状況、授業態度などから総合的に判断して評価する	○	○	○	6
	機械に働く力と仕事	力の3要素を理解し、力の合成・分解を直角な2力の合成・分解で理解させる。(主に作図法から導く)	毎時間のノートやプリントの状況、定期考査の得点、出席状況、授業態度などから総合的に判断して評価する	○	○	○	8
		力の3要素を理解し、力の合成・分解を直角な2力の合成・分解で理解させる。(主に作図法から導く)回転運動を理解するうえで、力のモーメント=力×モーメントの腕を考える。	毎時間のノートやプリントの状況、定期考査の得点、出席状況、授業態度などから総合的に判断して評価する	○	○	○	8
2 学期	材料の強さと使い方	材料の機械的性質・引張り・圧縮を受ける部材の変形について考える。	毎時間のノートやプリントの状況、定期考査の得点、出席状況、授業態度などから総合的に判断して評価する	○	○	○	10
		材料の機械的性質・引張り・圧縮を受ける部材の変形について考える。(引張・圧縮応力の意味と、応力=荷重÷断面積の計算練習)	毎時間のノートやプリントの状況、定期考査の得点、出席状況、授業態度などから総合的に判断して評価する	○	○	○	10
		材料の機械的性質・引張り・圧縮を受ける部材の変形について考える。(材料の機械的性質からその使い方を理解する)	毎時間のノートやプリントの状況、定期考査の得点、出席状況、授業態度などから総合的に判断して評価する	○	○	○	8
3 学期	材料の強さと使い方	車軸や橋げたを例にとり、曲げを受ける部材の強さを理解する。(はりの種類と、はりに加わる荷重の種類を理解する)	毎時間のノートやプリントの状況、定期考査の得点、出席状況、授業態度などから総合的に判断して評価する	○	○	○	6
		曲げを受ける部材の強さを理解する。(いろいろな種類のはりに加わる荷重について、計算で曲げ応力を求め、曲げ応力図を作成する)	毎時間のノートやプリントの状況、定期考査の得点、出席状況、授業態度などから総合的に判断して評価する	○	○	○	8
		せん断荷重を受ける部材の強さを理解する。(いろいろな種類のはりに加わる荷重について、計算でせん断応力を求め、せん断力図を作成する)	毎時間のノートやプリントの状況、定期考査の得点、出席状況、授業態度などから総合的に判断して評価する	○	○	○	6

高等学校 令和7年度

教科 工業

科目 生産技術

教科：工業

科目：生産技術

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 2 組

教科担当者：（1組：門田） （2組：門田） （組： ） （組： ） （組： ） （組： ）

使用教科書：（生産技術〔実教出版〕）

教科 工業

の目標：

【知識及び技能】生産技術におけるネットワーク化や自動化について理解し、生産の合理化を理解している。

【思考力、判断力、表現力等】生産技術に関する基礎的な知識や技術を基に、ものづくりにおいて適切な判断ができる。

【学びに向かう力、人間性等】生産技術に興味関心を持ち、いろいろな関わりに主体的に取り組める態度を身につけている。

科目 生産技術

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生産技術の各分野に関する基礎的な知識と技術を理解し、生産における諸問題を適切に処理する知識を身につけている。	生産技術に関する諸問題の適切な解決をめざし、基礎的な知識と技術の活用と展開ができる。	生産工業と社会のかかわりにおける問題解決について主体的に取り組む、実践的に改善する態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	生産技術を学ぶにあたって	①工業技術の発達による社会変化 ②コンピュータをはじめとする進化 ③国際化と倫理観と環境	考查得点、出席状況、授業態度、毎時間の提出物などから総合的に評価する	○	○	○	9
	生産における制御技術	①生産システムにおける自動制御の分類と機能 ②センサの種類・原理・特徴・用途 ③シーケンス制御 ④フィードバック制御	考查得点、出席状況、授業態度、毎時間の提出物などから総合的に評価する	○	○	○	15
2 学期	生産における制御技術	①コンピュータの基本構成と5装置の機能・電気信号の種類 ②インターフェース ③コンピュータ制御 ④マイクロコンピュータ制御 ⑤マイコンの組み込みシステム ⑥企業内ネットワーク ⑦工場内ネットワークとシステム	考查得点、出席状況、授業態度、毎時間の提出物などから総合的に評価する	○	○	○	9
	ロボット技術	①ロボットの変遷・分類 ②ロボットの機構と運動	考查得点、出席状況、授業態度、毎時間の提出物などから総合的に評価する	○	○	○	9
	ロボット技術	①制御技術・ロボット言語・材料・サーボ機構 ②安全管理	考查得点、出席状況、授業態度、毎時間の提出物などから総合的に評価する	○	○	○	6
3 学期	生産の自動化技術	①CAD/CAM ②NC工作機械 ③生産の自動化・システムの構成	考查得点、出席状況、授業態度、毎時間の提出物などから総合的に評価する	○	○	○	18

高等学校 令和7年度

教科 工業

科目 原動機

教科：工業 科目：原動機

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 2組～ 組

教科担当者：(2組：栗俣) (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)

使用教科書：(原動機〔実教出版〕)

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業科として、ものづくりに関する知識と技能を習得するために意欲的に活動できる。

【思考力、判断力、表現力等】工業科として、ものづくりに必要な思考を深め、問題解決を図る為の判断及び表現を高める。

【学びに向かう力、人間性等】工業科として、ものづくりへの興味関心を高め、自ら学ぶ力を向上させる。

科目 原動機 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
原動機に関する基礎的な知識と技術を理解し、エネルギーの利用の歴史・流体の基本的性質・内燃機関・圧力・管路の流れ・流体のエネルギー・エネルギー損失に関する知識を身につけている。	諸問題の解決をめざしてみずから思考を深め、問題解決方法を適切に判断する能力を身につけており、エネルギーの利用の歴史・流体の基本的性質・内燃機関・圧力・管路の流れ・流体のエネルギー・エネルギー損失に関する知識を組み合わせて適切に判断することができる。	原動機に関する基礎的な知識と技術に関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的・実践的な態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	エネルギーの利用の歴史	①エネルギーの歴史 ②身近なエネルギーの利用 ③熱エネルギーの利用	考查、出席状況、授業態度、学習に関する取り組み	○	○	○	9
	流体の基本的性質	①単位の意味と換算 ②密度・体積・質量・比重 ③圧縮性 ④粘度	考查、出席状況、授業態度、学習に関する取り組み	○	○	○	9
	内燃機関	①内燃機関のあらまし ②内燃機関の基礎 ③往復機関の基礎	考查、出席状況、授業態度、学習に関する取り組み	○	○	○	10
2 学 期	圧力	①圧力の基礎 ②圧力の単位 ③パスカルの原理 ④絶対圧とゲージ圧	考查、出席状況、授業態度、学習に関する取り組み	○	○	○	12
	管路の流れ	①定常流と非定常流 ②流速と流量 ③連続の式	考查、出席状況、授業態度、学習に関する取り組み	○	○	○	12
3 学 期	流体のエネルギー	①圧力のエネルギー ②運動エネルギー ③重力による位置エネルギー ④ベルヌーイの定理 ⑤トリチェリの定理	考查、出席状況、授業態度、学習に関する取り組み	○	○	○	9
	エネルギー損失	①ベルヌーイの定理と損失 ②管摩擦損失 ③管路形状による損失	考查、出席状況、授業態度、学習に関する取り組み	○	○	○	9

高等学校 令和7年度

教科 工業

科目 機械工作

教科：工業 科目：機械工作

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～ 組

教科担当者：(1組：門田) (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)

使用教科書：(機械工作1・2 [実教出版])

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業科として、ものづくりに関する知識と技能を習得するために意欲的に活動できる。

【思考力、判断力、表現力等】工業科として、ものづくりに必要な思考を深め、問題解決を図る為の判断及び表現を高める。

【学びに向かう力、人間性等】工業科として、ものづくりへの興味関心を高め、自ら学ぶ力を向上させる。

科目 機械工作 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
機械工作に関する基礎的な知識と技術を理解し、機械材料・切削加工・生産管理・品質管理に関する知識を身につけている。	諸問題の解決をめざしてみずから思考を深め、問題解決方法を適切に判断する能力を身につけており、機械材料・切削加工・生産管理・品質管理に関する知識を組み合わせ適切に判断することができる。	機械工作に関する基礎的な知識と技術に関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的・実践的な態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学期	機械材料	①引っ張り強さ、硬さ、じん性と疲労 ②金属の結晶構造、鉄鋼材料 ③非鉄金属材料、非金属材料	考查、出席状況、授業態度、学習に関する取り組み	○	○	○	18
	切削加工	①切削加工の概要、切削加工と切削工具、工作機械と切削工具の運動 ②工作機械、切削工具 ③切削加工の概要、切削加工と切削工具、工作機械と切削工具の運動	考查、出席状況、授業態度、学習に関する取り組み	○	○	○	6
2 学期	切削加工	①工作機械、切削工具 ②切削工具と切削条件	考查、出席状況、授業態度、学習に関する取り組み	○	○	○	9
	生産管理	①生産計画と管理のあらまし	考查、出席状況、授業態度、学習に関する取り組み	○	○	○	3
	品質管理	①製品企画、製品設計、生産計画 ②生産管理、工程管理	考查、出席状況、授業態度、学習に関する取り組み	○	○	○	12
3 学期	品質管理	①資材管理、設備管理、原価管理 ②品質管理、品質標準 ③品質保証、品質システム	考查、出席状況、授業態度、学習に関する取り組み	○	○	○	18

高等学校 令和7年度

教科

工業

科目 機械基礎

教科：工業

科目：機械基礎

単位数：1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 組

教科担当者：（1組：門田）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（機械工作2〔実教出版〕）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】 機械工作に関する基礎的な知識と技術を理解して身につけている。

【思考力、判断力、表現力等】 機械のしくみや機械をつくる技術を自然法則と関連付けて考察し、判断できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 機械工作を材料、計測、生産管理を含めて学び、実際に活用できる能力と態度を身につけている。

科目 機械基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
機械工作に関する基礎的な知識と技術を理解し、ものづくりにおけるいろいろな場面で問題解決を試みる能力を身につけている。	機械工作に関する問題に対して、基礎的な知識と技術を活用して展開できるとともに、創意工夫により解決できる。	身近な製品に興味関心を持ち、そこから得られる知識や技術を適切に習得し、ものづくりに活用する態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	切削加工	①分類 ②工作機械と切削工具 ③切削工具と切削条件 ④切削理論 ⑤工作機械の構成と駆動装置	考查得点、出席状況、授業態度、毎時間の提出物などから総合的に評価する	○	○	○	10
2 学 期	砥粒加工	①分類 ②研削 ③砥石車 ④いろいろな研削・研磨 ⑤遊離砥粒による加工	考查得点、出席状況、授業態度、毎時間の提出物などから総合的に評価する	○	○	○	10
	特殊加工と三次元造形技術	①熱加工 ②化学的な加工 ③力学的な加工	考查得点、出席状況、授業態度、毎時間の提出物などから総合的に評価する	○	○	○	5
3 学 期	表面処理	①めっき ②化学処理と陽極酸化処理 ③いろいろな皮膜処理	考查得点、出席状況、授業態度、毎時間の提出物などから総合的に評価する	○	○	○	10

東京都立北豊島工科高等学校 令和7年度 年間授業計画

教科:(工業)科目:【必修選択必修選択】(機械基礎) 対象:(第2学年2組)

教科担当者:(1組:)(2組:福田)(3組:)(4組:)

使用教科書:工業技術基礎 自動車工学1・2

使用教材:なし

単位数:1単位

	指導内容 【年間授業計画】	科目「機械基礎」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時数
4月	工業計測	計測の基礎・計測器	3
5月	工業計測	長さの測定、三次元形状測定	4
6月	工業計測	表面性状の測定、質量と力の測定	4
7月	工業計測	温度の測定	2
9月	人と技術と環境	人と技術の歩み	4
10月	人と技術と環境	社会生活と産業、社会生活と産業	4
11月	人と技術と環境	工業生産と製造業	3
12月	人と技術と環境	工業技術による社会貢献、人と環境	3
1月	自動車と安全	交通災害、自動車の安全装置	3
2月	自動車と環境	自動車の大気汚染、閑居保全の取り組み	3
3月	自動車と環境	自動車の廃棄物とリサイクル、省エネ対策	2
	評価の観点・方法	①出席状況、②定期考査、③ワークシートやノートなどの提出物、デジタル教材を活用した成果等々を総合的に活用し評価する。 定期考査は年3回を予定している。	

高等学校 令和7年度

教科

工業

科目 実習

教科：工業 科目：実習

単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 1組～ 組

教科担当者：（1組：春日・村里・栗股・島倉・本間）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（工業技術基礎 ）

教科 工業 の目標：

- 【知識及び技能】各種加工I（旋盤・フライス盤）、ガス溶接、CADの知識と技術を身に付ける
- 【思考力、判断力、表現力等】工作機械や作業設備・実験器具の扱いや問題点について、その内容や結果を適切に伝える
- 【学びに向かう力、人間性等】実習授業について興味関心を持ち積極的に行動する

科目 実習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科目の工業技術基礎を習得したのちの工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身に付け、実際の仕事を適切に処理する能力を身に付けているか。	科目の工業技術基礎を習得したのちの工業に関する諸問題の適切な解決を目指して、的確に表現し伝える能力を身に付けているか。	科目の工業技術基礎を習得したのちの工業技術について主体的に興味・関心を持ち、積極的に学ぶ態度を身に付けているか。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	①各種加工I（旋盤・フライス盤）、ガス溶接、CAD実習についての知識と技術の習得 ②工作機械や作業設備・実験器具の扱いや問題点について、その内容や結果を適切に伝える ③興味・関心を持ち、積極的に学ぶ態度を身に付ける	①安全作業のもと、作品を完成させる ②作業内容の報告書 ③安全作業のもとでの授業態度	①安全作業のもと作業工程通りに作品が出来たか ②作業内容についての的確に報告できているか ③興味関心を持ち、積極的に学んだか	○	○	○	6
	①各種加工I（旋盤・フライス盤）、ガス溶接、CAD実習についての知識と技術の習得 ②工作機械や作業設備・実験器具の扱いや問題点について、その内容や結果を適切に伝える ③興味・関心を持ち、積極的に学ぶ態度を身に付ける	①安全作業のもと、作品を完成させる ②作業内容の報告書 ③安全作業のもとでの授業態度	①安全作業のもと作業工程通りに作品が出来たか ②作業内容についての的確に報告できているか ③興味関心を持ち、積極的に学んだか	○	○	○	12
	①各種加工I（旋盤・フライス盤）、ガス溶接、CAD実習についての知識と技術の習得 ②工作機械や作業設備・実験器具の扱いや問題点について、その内容や結果を適切に伝える ③興味・関心を持ち、積極的に学ぶ態度を身に付ける	①安全作業のもと、作品を完成させる ②作業内容の報告書 ③安全作業のもとでの授業態度	①安全作業のもと作業工程通りに作品が出来たか ②作業内容についての的確に報告できているか ③興味関心を持ち、積極的に学んだか	○	○	○	12
	①各種加工I（旋盤・フライス盤）、ガス溶接、CAD実習についての知識と技術の習得 ②工作機械や作業設備・実験器具の扱いや問題点について、その内容や結果を適切に伝える ③興味・関心を持ち、積極的に学ぶ態度を身に付ける	①安全作業のもと、作品を完成させる ②作業内容の報告書 ③安全作業のもとでの授業態度	①安全作業のもと作業工程通りに作品が出来たか ②作業内容についての的確に報告できているか ③興味関心を持ち、積極的に学んだか	○	○	○	6
2 学 期	①各種加工I（旋盤・フライス盤）、ガス溶接、CAD実習についての知識と技術の習得 ②工作機械や作業設備・実験器具の扱いや問題点について、その内容や結果を適切に伝える ③興味・関心を持ち、積極的に学ぶ態度を身に付ける	①安全作業のもと、作品を完成させる ②作業内容の報告書 ③安全作業のもとでの授業態度	①安全作業のもと作業工程通りに作品が出来たか ②作業内容についての的確に報告できているか ③興味関心を持ち、積極的に学んだか	○	○	○	12
	①各種加工I（旋盤・フライス盤）、ガス溶接、CAD実習についての知識と技術の習得 ②工作機械や作業設備・実験器具の扱いや問題点について、その内容や結果を適切に伝える ③興味・関心を持ち、積極的に学ぶ態度を身に付ける	①安全作業のもと、作品を完成させる ②作業内容の報告書 ③安全作業のもとでの授業態度	①安全作業のもと作業工程通りに作品が出来たか ②作業内容についての的確に報告できているか ③興味関心を持ち、積極的に学んだか	○	○	○	9
	①各種加工I（旋盤・フライス盤）、ガス溶接、CAD実習についての知識と技術の習得 ②工作機械や作業設備・実験器具の扱いや問題点について、その内容や結果を適切に伝える ③興味・関心を持ち、積極的に学ぶ態度を身に付ける	①安全作業のもと、作品を完成させる ②作業内容の報告書 ③安全作業のもとでの授業態度	①安全作業のもと作業工程通りに作品が出来たか ②作業内容についての的確に報告できているか ③興味関心を持ち、積極的に学んだか	○	○	○	12

	①各種加工 I（旋盤・フライス盤）、ガス溶接、CAD実習についての知識と技術の習得 ②工作機械や作業設備・実験器具の扱いや問題点について、その内容や結果を適切に伝える ③興味・関心を持ち、積極的に学ぶ態度を身に付ける	①安全作業のもと、作品を完成させる ②作業内容の報告書 ③安全作業のもとでの授業態度	①安全作業のもと作業工程通りに作品が出来たか ②作業内容についての的確に報告できているか ③興味関心を持ち、積極的に学んだか	○	○	○	9
	①各種加工 I（旋盤・フライス盤）、ガス溶接、CAD実習についての知識と技術の習得 ②工作機械や作業設備・実験器具の扱いや問題点について、その内容や結果を適切に伝える ③興味・関心を持ち、積極的に学ぶ態度を身に付ける	①安全作業のもと、作品を完成させる ②作業内容の報告書 ③安全作業のもとでの授業態度	①安全作業のもと作業工程通りに作品が出来たか ②作業内容についての的確に報告できているか ③興味関心を持ち、積極的に学んだか	○	○	○	9
	①各種加工 I（旋盤・フライス盤）、ガス溶接、CAD実習についての知識と技術の習得 ②工作機械や作業設備・実験器具の扱いや問題点について、その内容や結果を適切に伝える ③興味・関心を持ち、積極的に学ぶ態度を身に付ける	①安全作業のもと、作品を完成させる ②作業内容の報告書 ③安全作業のもとでの授業態度	①安全作業のもと作業工程通りに作品が出来たか ②作業内容についての的確に報告できているか ③興味関心を持ち、積極的に学んだか	○	○	○	9
3 学 期	①各種加工 I（旋盤・フライス盤）、ガス溶接、CAD実習についての知識と技術の習得 ②工作機械や作業設備・実験器具の扱いや問題点について、その内容や結果を適切に伝える ③興味・関心を持ち、積極的に学ぶ態度を身に付ける	①安全作業のもと、作品を完成させる ②作業内容の報告書 ③安全作業のもとでの授業態度	①安全作業のもと作業工程通りに作品が出来たか ②作業内容についての的確に報告できているか ③興味関心を持ち、積極的に学んだか	○	○	○	9
							合計
							105

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 工業 科目 実習（整備・制御）

教科：工業 科目：実習（整備・制御） 単位数：3 単位
 対象学年組：第2学年 2組～ 組
 教科担当者：（2組：岩間・北爪・栗股） （組： ） （組： ） （組： ）
 使用教科書：（工業技術基礎・原動機・自校作成テキスト）

教科 工業 の目標：
 【知識及び技能】自動車の日常点検・リレーを使った制御・CAD/CAM・流体実験の知識と技術を身に付ける
 【思考力、判断力、表現力等】実習設備・実験器具の扱いや問題点について、その内容や結果を適切に伝える
 【学びに向かう力、人間性等】実習授業について興味関心を持ち積極的に行動する

科目 実習（整備・制御） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科目の工業技術基礎を習得したのちの工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身に付け、実際の仕事を適切に処理する能力を身に付けているか。	科目の工業技術基礎を習得したのちの工業に関する諸問題の適切な解決を目指して、的確に表現し伝える能力を身に付けているか。	科目の工業技術基礎を習得したのちの工業技術について主体的に興味・関心をもち、積極的に学ぶ態度を身に付けているか。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	①自動車の日常点検・リレーを使った制御・CAD/CAM・流体実験についての知識と技術の習得 ②実習設備・実験器具の扱いや問題点について、その内容や結果を適切に伝える ③興味・関心をもち、積極的に学ぶ態度を身に付ける	①安全作業のもと、各課題を完成させる ②作業内容の報告書 ③安全作業のもとでの授業態度	①安全作業のもと作業工程通りに実習を行うことが出来たか ②作業内容についての的確に報告できているか ③興味関心を持ち、積極的に学んだか	○	○	○	6
	①自動車の日常点検・リレーを使った制御・CAD/CAM・流体実験についての知識と技術の習得 ②実習設備・実験器具の扱いや問題点について、その内容や結果を適切に伝える ③興味・関心をもち、積極的に学ぶ態度を身に付ける	①安全作業のもと、各課題を完成させる ②作業内容の報告書 ③安全作業のもとでの授業態度	①安全作業のもと作業工程通りに実習を行うことが出来たか ②作業内容についての的確に報告できているか ③興味関心を持ち、積極的に学んだか	○	○	○	9
	①自動車の日常点検・リレーを使った制御・CAD/CAM・流体実験についての知識と技術の習得 ②実習設備・実験器具の扱いや問題点について、その内容や結果を適切に伝える ③興味・関心をもち、積極的に学ぶ態度を身に付ける	①安全作業のもと、各課題を完成させる ②作業内容の報告書 ③安全作業のもとでの授業態度	①安全作業のもと作業工程通りに実習を行うことが出来たか ②作業内容についての的確に報告できているか ③興味関心を持ち、積極的に学んだか	○	○	○	9
	①自動車の日常点検・リレーを使った制御・CAD/CAM・流体実験についての知識と技術の習得 ②実習設備・実験器具の扱いや問題点について、その内容や結果を適切に伝える ③興味・関心をもち、積極的に学ぶ態度を身に付ける	①安全作業のもと、各課題を完成させる ②作業内容の報告書 ③安全作業のもとでの授業態度	①安全作業のもと作業工程通りに実習を行うことが出来たか ②作業内容についての的確に報告できているか ③興味関心を持ち、積極的に学んだか	○	○	○	3
2 学 期	①自動車の日常点検・リレーを使った制御・CAD/CAM・流体実験についての知識と技術の習得 ②実習設備・実験器具の扱いや問題点について、その内容や結果を適切に伝える ③興味・関心をもち、積極的に学ぶ態度を身に付ける	①安全作業のもと、各課題を完成させる ②作業内容の報告書 ③安全作業のもとでの授業態度	①安全作業のもと作業工程通りに実習を行うことが出来たか ②作業内容についての的確に報告できているか ③興味関心を持ち、積極的に学んだか	○	○	○	12
	①自動車の日常点検・リレーを使った制御・CAD/CAM・流体実験についての知識と技術の習得 ②実習設備・実験器具の扱いや問題点について、その内容や結果を適切に伝える ③興味・関心をもち、積極的に学ぶ態度を身に付ける	①安全作業のもと、各課題を完成させる ②作業内容の報告書 ③安全作業のもとでの授業態度	①安全作業のもと作業工程通りに実習を行うことが出来たか ②作業内容についての的確に報告できているか ③興味関心を持ち、積極的に学んだか	○	○	○	12
	①自動車の日常点検・リレーを使った制御・CAD/CAM・流体実験についての知識と技術の習得 ②実習設備・実験器具の扱いや問題点について、その内容や結果を適切に伝える ③興味・関心をもち、積極的に学ぶ態度を身に付ける	①安全作業のもと、各課題を完成させる ②作業内容の報告書 ③安全作業のもとでの授業態度	①安全作業のもと作業工程通りに実習を行うことが出来たか ②作業内容についての的確に報告できているか ③興味関心を持ち、積極的に学んだか	○	○	○	9
	①自動車の日常点検・リレーを使った制御・CAD/CAM・流体実験についての知識と技術の習得 ②実習設備・実験器具の扱いや問題点について、その内容や結果を適切に伝える ③興味・関心をもち、積極的に学ぶ態度を身に付ける	①安全作業のもと、各課題を完成させる ②作業内容の報告書 ③安全作業のもとでの授業態度	①安全作業のもと作業工程通りに実習を行うことが出来たか ②作業内容についての的確に報告できているか ③興味関心を持ち、積極的に学んだか	○	○	○	6
	①自動車の日常点検・リレーを使った制御・CAD/CAM・流体実験についての知識と技術の習得 ②実習設備・実験器具の扱いや問題点について、その内容や結果を適切に伝える ③興味・関心をもち、積極的に学ぶ態度を身に付ける	①安全作業のもと、各課題を完成させる ②作業内容の報告書 ③安全作業のもとでの授業態度	①安全作業のもと作業工程通りに実習を行うことが出来たか ②作業内容についての的確に報告できているか ③興味関心を持ち、積極的に学んだか	○	○	○	12

3 学 期	適切に伝える ③興味・関心を持ち、積極的に学 ぶ態度を身に付ける						
	①自動車の日常点検・リレーを 使った制御・CAD/CAM・流体実験に ついての知識と技術の習得 ②実習設備・実験器具の扱いや問 題点について、その内容や結果を 適切に伝える ③興味・関心を持ち、積極的に学 ぶ態度を身に付ける	①安全作業のもと、各課題を完成 させる ②作業内容の報告書 ③安全作業のもとでの授業態度	①安全作業のもと作業工程通りに実習を行う ことが出来たか ②作業内容についての的確に報告できてい るか ③興味関心を持ち、積極的に学んだか	○	○	○	12
	①自動車の日常点検・リレーを 使った制御・CAD/CAM・流体実験に ついての知識と技術の習得 ②実習設備・実験器具の扱いや問 題点について、その内容や結果を 適切に伝える ③興味・関心を持ち、積極的に学 ぶ態度を身に付ける	①安全作業のもと、各課題を完成 させる ②作業内容の報告書 ③安全作業のもとでの授業態度	①安全作業のもと作業工程通りに実習を行う ことが出来たか ②作業内容についての的確に報告できてい るか ③興味関心を持ち、積極的に学んだか	○	○	○	3
						合計	93

高等学校 令和7年度

教科 工業

科目 電気回路2

教科：工業 科目：電気回路2

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 4 組～ 組

教科担当者：(4組：平出) (3組：平出) (組：) (組：) (組：) (組：)

使用教科書：(電気回路2 [実教出版])

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業科として、ものづくりに関する知識と技能を習得するために意欲的に活動できる。

【思考力、判断力、表現力等】工業科として、ものづくりに必要な思考を深め、問題解決を図る為の判断及び表現を高める。

【学びに向かう力、人間性等】工業科として、ものづくりへの興味関心を高め、自ら学ぶ力を向上させる。

科目 電気回路2 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
電気回路に関する基礎的な知識と技術を理解し、直流回路、交流回路に関する知識を身につけている。	諸問題の解決をめざしてみずから思考を深め、問題解決方法を適切に判断する能力を身につけており、直流回路、交流回路に関する知識を組み合わせることで適切に判断することができる。	直流回路、交流回路に関する基礎的な知識と技術に関心をもち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的・実践的な態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	静電気	①電荷と電解 ②コンデンサ ③絶縁破壊と放電現象	考查、出席状況、授業態度、学習に関する取り組み	○	○	○	13
	交流回路	①交流回路の発生と表し方 ②交流回路の電流・電圧 ③交流回路の電力	考查、出席状況、授業態度、学習に関する取り組み	○	○	○	13
2 学 期	交流回路の計算	①記号法の取り扱い ②記号法による計算 ③回路に関する定理	考查、出席状況、授業態度、学習に関する取り組み	○	○	○	13
	三相交流	①三相交流の基礎 ②三相交流回路 ③回転磁界	考查、出席状況、授業態度、学習に関する取り組み	○	○	○	13
3 学 期	電気計測・各種波形	①測定量の取り扱い ②電気計器の原理と構造 ③基礎量の測定 ④非正弦派交流 ⑤過渡現象	考查、出席状況、授業態度、学習に関する取り組み	○	○	○	18

高等学校 令和7年度(2年生) 教科 工業 科目 電子回路

教科: 工業 科目: 電子回路 単位数: 単位
 対象学年組: 第2学年 4組~ 組
 教科担当者: (4組:) (組:) (組:) (組:) (組:) (組:)
 使用教科書: (電子回路 実教出版)

教科 工業 の目標:
 【知識及び技能】工業科として、ものづくりに関する知識と技能を習得するために意欲的に活動できる。
 【思考力、判断力、表現力等】工業科として、ものづくりに必要な思考を深め、問題解決を図る為の判断及び表現を高める。
 【学びに向かう力、人間性等】工業科として、ものづくりへの興味関心を高め、自ら学ぶ力を向上させる。

科目 電子回路 の目標:	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
電子回路において、機能や特性を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。	電子回路に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する能力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	電子回路を設計・制作する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	○電子回路を形つくる半導体の利用したものであり、種類や電気的性質の理解を深める。 ○ダイオードの特性・種類・利用法について理解を深める。 ○トランジスタの動作原理や統制について理解を深める。 ○電界効果トランジスタの構造や基本的な動作原理について理解を深める。 ○その他の半導体素子について知るとともに理解を深める。 ○半導体基板上につくり込んだ集積回路について、理解するとともに基礎となる部分について理解を深める。	○半導体 ○ダイオード ○トランジスタ ○電界効果トランジスタ ○その他の半導体素子 ○集積回路	○主体的に学習に対する取り組み及び授業態度 ○ワークシート等を思考・判断に基づいて作成した提出物 ○電子回路の基本的知識・技能を身に付ける出席状況	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	○トランジスタによる電圧・電流・電力の増幅について、原理・増幅器に関する基礎的な理解を深める。 ○トランジスタの基本的な使用方法、増幅度の計算方法の理解を深める。 ○バイアス回路の種類・特徴・安定度について理解を深める。 ○小信号増幅回路の増幅度と周波数特性、コンデンサの影響について理解を深める。 ○電流帰還バイアス回路を用いた回路を設計し、電圧・電流増幅度や入力インピーダンスの計算について理解を深める。 ○電界効果トランジスタを用いた小信号回路について理解を深める。	○増幅とは ○トランジスタ増幅回路の基礎 ○トランジスタのバイアス回路 ○トランジスタによる小信号増幅回路 ○トランジスタによる小信号増幅回路の設計 ○電界効果トランジスタによる小信号増幅回路	○主体的に学習に対する取り組み及び授業態度 ○ワークシート等を思考・判断に基づいて作成した提出物 ○電子回路の基本的知識・技能を身に付ける出席状況	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	
2 学期	○増幅回路内部では、波形がはずんだり、雑音が発生するため、問題を改善するために使用される負帰還増幅回路について、理解を深める。 ○差動増幅回路の概要を知るとともに演算増幅器の特徴及び使い方について理解を深める。 ○電力増幅回路で、効率よく増幅するか発熱に対して動作を安定させるか理解を深める。 ○同調回路を用いて特定の周波数の範囲だけ増幅するか理解を深める。	○負帰還増幅回路 ○差動増幅回路と演算増幅器 ○電力増幅回路 ○高周波増幅回路	○主体的に学習に対する取り組み及び授業態度 ○ワークシート等を思考・判断に基づいて作成した提出物 ○電子回路の基本的知識・技能を身に付ける出席状況	○	○	○	12
	○発信回路の原理と、回路が発信する条件などについて理解を深める。 ○コイル(L)とコンデンサ(C)を用いた回路の動作原理や実際の回路について理解を深める。	○発信回路の基礎 ○LC発信回路	○主体的に学習に対する取り組み及び授業態度 ○ワークシート等を思考・判断に基づいて作成した提出物 ○電子回路の基本的知識・技能を身に付ける出席状況	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	○コンデンサ(C)と抵抗(R)を用いた回路の動作原理について理解を深める。 ○水晶発振回路の動作原理について理解を深める。	○CR発信回路 ○水晶発振回路	○主体的に学習に対する取り組み及び授業態度 ○ワークシート等を思考・判断に基づいて作成した提出物 ○電子回路の基本的知識・技能を身に付ける出席状況	○	○	○	6
	○変調と復調の原理や種類について理解を深める。 ○振幅変調の基礎と復調の基礎について理解を深める。 ○周波数変調の基礎と復調の基礎について理解を深める。	○変調・復調の基本 ○振幅変調・復調 ○周波数変調・復調	○主体的に学習に対する取り組み及び授業態度 ○ワークシート等を思考・判断に基づいて作成した提出物 ○電子回路の基本的知識・技能を身に付ける出席状況	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
○パルスに関する基本的な事項及びCR回路の応答について理解を深める。 ○各種マルチバイプレータの回路と	○パルス波形とCR回路の応答 ○マルチバイプレータ ○波形整形回路	○主体的に学習に対する取り組み及び授業態度 ○ワークシート等を思考・判断に基づいて作成した提出物 ○電子回路の基本的知識・技能を身に付ける出席状況					

3 学 期	動作について理解を深める。 ○波形整形波回路について理解を深める。		席状況	○	○	○	12
	○交流電圧から直流電圧に変換させる電源回路の構成及び諸特性について理解を深める。 ○直列制御電源回路における安定回路（直列制御安定化回路）について理解を深める。 ○スイッチング制御電源回路の基本について理解を深める。	○電源回路の基礎 ○直列制御電源回路 ○スイッチング制御電源回路	○主体的に学習に対する取り組み及び授業態度 ○ワークシート等を思考・判断に基づいて作成した提出物 ○電子回路の基本的知識・技能を身に付ける出席状況	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和7年度

教科 工業

科目 ハードウェア技術

教科：工業 科目：ハードウェア技術

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 4 組～ 組

教科担当者：(4組：川崎) (組：) (組：) (組：) (組：)

使用教科書：(ハードウェア技術 [実教出版])

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】工業科として、ものづくりに関する知識と技能を習得するために意欲的に活動できる。

【思考力、判断力、表現力等】工業科として、ものづくりに必要な思考を深め、問題解決を図る為の判断及び表現を高める。

【学びに向かう力、人間性等】工業科として、ものづくりへの興味関心を高め、自ら学ぶ力を向上させる。

科目 ハードウェア技術 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ハードウェア技術に関する基礎的な知識と技術を理解し、コンピュータの電子回路、コンピュータの構成、コンピュータによる制御、制御プログラム、マイクロコンピュータの組込み技術に関する知識を身につけている。	諸問題の解決をめざしてみずから思考を深め、問題解決方法を適切に判断する能力を身につけており、コンピュータの電子回路、コンピュータの構成、コンピュータによる制御、制御プログラム、マイクロコンピュータの組込み技術に関する知識を組み合わせることで適切に判断することができる。	ハードウェア技術に関する基礎的な知識と技術に関心をもち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的・実践的な態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	コンピュータの電子回路	①データの表現 ②論理回路の基礎 ③電子素子とデジタル回路 ④論理式の簡単化	考查、出席状況、授業態度、学習に関する取り組み	○	○	○	12
	コンピュータの構成	①コンピュータの種類と機能 ②コンピュータの動作と中央処理装置 ③主記憶装置 ④補助記憶装置	考查、出席状況、授業態度、学習に関する取り組み	○	○	○	12
2 学期	コンピュータによる制御	①コンピュータによる制御の概要 ②インタフェース ③センサとアクチュエータ ④割込み処理	考查、出席状況、授業態度、学習に関する取り組み	○	○	○	14
	制御プログラム	①プログラム言語 ②アセンブリ言語によるプログラミング ③Cによるプログラム ④制御プログラム	考查、出席状況、授業態度、学習に関する取り組み	○	○	○	14
3 学期	マイクロコンピュータの組込み技術	①組込みシステムの概要 ②組込みシステムの開発 ③組込み用マイコン ④組込みソフトウェアの基本 ⑤組込みシステム用OSの機能 ⑥開発環境	考查、出席状況、授業態度、学習に関する取り組み	○	○	○	18

高等学校 令和7年度

教科 総合的な探究の時間 科目 探究防災Ⅱ

教科： 総合的な探究の時間

科目： 探究防災Ⅱ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 4 組～ 組

教科担当者： 青柳・柳沢・相沢・楨野・野末・松本・益永・渡邊・岩間

使用教科書： (なし)

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】実社会や実生活との関わりを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、まとめ・表現することができるように

【学びに向かう力、人間性等】探究に主体的・共同的に取り組み、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 探究防災Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義と価値を理解できるようにする。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	オリエンテーション ①避難所運営 ②震災の歴史 ③建物の耐震構造 ④避難所運営シミュレーション ⑤避難所開設訓練	※ オリエンテーション・授業計画、防災教育 ①避難所の事例を学び、災害時に必要となる支援について考える。 ②過去の震災について学び、必要な備えを考える。 ③建物の耐震について学び、災害時に危険を避け行動できる知識を身につける。 ④避難所の運営をシミュレーションすることで、様々な配慮が必要であることを学ぶ。 ⑤避難所開設訓練を通し、事前に様々な準備が必要なことや、物資の供給などの重要性を学ぶ。	出席状況、授業態度、学習に関する取り組み、報告書の提出	○	○	○	14
2 学 期	①水難救助訓練 ②防災学習 ③重機の操作 ④ハザードマップの分析 ⑤高齢者体験 ⑥ロープワーク ⑦応急処置 ⑧避難所生活 ⑨防災設備	①河川の氾濫を想定し、水害時の救助方法を学ぶ。 ②防災館を見学し、防災に関する基礎知識を身につける。 ③パワーショベルの操作を体験し、災害時に役に立つ技術を身につける。 ④WebGISを用いて、地域ごとの災害リスクを考える。 ⑤高齢者体験キットを用いて、災害時に必要なサポートを考える。 ⑥ロープワークを体験し、緊急時に役立つ技術を身につける。 ⑦応急処置の技術を体験し、災害時に自分や周りの人を助けられる技術を身につける。 ⑧避難所の生活を学び、段ボールベッドや簡易トイレの組み立てを体験する。 ⑨警報装置や消火設備などの防災設備について学習・体験することで、災害時にそれらを活用する技術を身につける。	出席状況、授業態度、学習に関する取り組み、報告書の提出	○	○	○	24
3 学 期	①テーマ別研究 ②発表	①これまでに学んだ防災に関するテーマの中から、1つを選び研究を行う。 ②情報を収集・まとめ、発表を行う。	出席状況、授業態度、学習に関する取り組み、報告書の提出	○	○	○	14